

部活動再開後、練習試合の地域も広がり、ようやく活気づいたグラウンドが戻ってきました。体育館までは見に行けなかったの



ですが、野球場、サッカー場、ソフトボール場では、練習試合が行われていました。

送迎で来られた保護者の方々も一安心された部分もあったのではないのでしょうか。まだまだ道のりは長いかわかりませんが、7月10日以降は公式戦も入ってまいります。新しい観戦様式や大会の運営方式が模索され少しずつ改良を加えて今後に結びつくものになっていくと思います。今一度大会に臨む気持ち、ありがたさなど確認しつつ応援方法や観戦方法、運営方法など見直し、より良い大会の実施環境を作り上げていきましょう。ご協力をお願いいたします。

さて、分散登校を経て学校再開から2週間が過ぎました。兵庫県での感染者は非常に限られています、東京近郊では緊急事態宣言解除後も感染者は出ており、人の往来が活発になることによってくすぶり続けているような感じです。今後の見通しが立てられないまま現状を受け入れていくしかないといった状況です。第2波への警戒感が強い中ではありますが、現状を考え継続できる消毒、手洗い励行など感染症予防の基本的な部分を続けることで、予防効果を高め感染者を出さないようにしていかなければなりません。現在消毒は生徒下校後に学年団が各教室を、部活動顧問が使用教室を、保健部がトイレ、手すり等を行っています、1日1回の消毒をしばらくの間継続できるように清掃分担区域で各担当者が行うようにしました。短時間で継続的に行うためです。部活動等で使用後の教室は部活動顧問が消毒を実施することになっています。先生方には消毒作業等授業以外の面でも感染防止に協力いただいていますので、生徒の皆さんも自らの感染防止に努めるようにしてください。新しい生活様式を少しずつ定着させ、学校全体として新型コロナだけでなく秋以降必ずやってくるインフルエンザに対しても、また感染性の胃腸炎に対しても自分で自分の身を守るという原点に立ち返っての予防対策を習慣化していきたいものです。暑い夏を迎える中、マスク着用等感染防止対策を継続しながら、熱中症などの二次的な健康被害を防いで行くことも大切になってきます。熱中症に気を付けながら感染に対する意識を高め、予防対策をみんなで継続していきましょう。



先週お知らせした特別教室に入れる扇風機が届きました。48台すべてを校務員さんに組み立てていただきました。授業ごとに順次教室に入れて活用していただきます。これは文科省から新型コロナ感染拡大防止による臨時休業で夏季休業短縮に伴う熱中症対策、感染防止対策にかかる各学校への支援金の一部を活用して購入させていただきました。大切に使用しましょう。

また右の写真は現在のウォータークーラーです。薬剤師さんの指導の下、使用禁止にさせていただきます。前号でもお知らせしたとおり、手で押すボタンを使用せず、足の方のペダルで水を出し、持参したコップや水筒で水を受けて飲む形での使用をできるようにしたいと考えています。使用については監視はできないので、各個人の自覚に任せるほかはありません。改めての協力をお願いします。



3年生との面談も終盤に差し掛かりました。進路のこと、部活動のこと、疑問に思うこと等話を聞かせてもらっています。本気で自分の将来を考えている生徒もいれば、もう一つ踏み込んでほしいと思う生徒もいます。松岡修造さんが「勝ち負けなんか、ちっぽけなこと。大事なことは、本気だったかどうかだ！」と言われている通り、いろいろな場面で本気度が問われます。なぜその進路に進むのか、部活動の締めくくりはどうするのか、そのために今自分ができていることを一生懸命にできているか等自らの本気度に問いかけてみてください。3年生だけでなく1、2年生も。本気度が足りない生徒はなぜ本気になれないのか考えてみましょう。もったいない時間の過ごし方をせず、いつも挑戦する気持ちをもって自分の良いところを伸ばしてほしいと思っています。それが自らを磨き、前に進んでいくことになりまから。